



銅メダルを獲得した岩本さん（右）と先輩の藤井さん（UBEマシナリーで）

輪大会
五大
技能
全国
技全

岩本さん、電気溶接で銅賞 UBEマシナリーから5年連続入賞

UBEマシナリー（宇部市沖ノ山）の岩本遼斗さん（23）が、10月に愛知県常滑市を主会場に開かれた第63回技能五輪全国大会の電気溶接種目で銅賞を獲得した。これまで2年連続で敢闘賞を手

にしており、同社としては歴代最高記録に並ぶ5年連続の入賞となった。同大会は、青年技能者

を対象に、技能競技を通じて努力目標を与え、技能を身近に感じる機会を提供するとともに、技能の重要性和必要性をアピールし、技能尊重の機運の醸成に資することを目的としている。

同種目は全国から31人が出場し、千葉市の高度ポリテクセンターで行われた。アルミニウム合

金、ステンレス鋼、テストピース、圧力容器の4課題で、あらかじめ図面で指示された方法に従い、6時間かけて溶接の精度と品質を競った。

岩本さんは、産機・鉄構製造部製造1課に所属し、普段は産業機械の製作に携わっている。宇部工高在学中、同社でのインターンシップで溶接を

見学して興味を持ち、2021年に入社。翌年の大会に初出場し、先輩で同大会銅メダリストの藤井将弥さん（25）を超え、この意気込みで臨んだが、入賞できなかった。これまでの、8月ごろから工場内の「モノづくりセンター製缶・溶接道場」で大会に向けた練習を始めていた。原則23歳以下の出場制限があり、今回が最後の大会となるため、前回大会終了後から同道場で練習を続けてきた。その結果、銅賞の3人の中でも最高得点と

なった。

岩本さんは「何も考えなくても体が勝手に動くようになるまで訓練し、今年が一番集中できた。全力を出し切ったので後

悔はない」と振り返り、「今後は幅広い年代が求められる溶接技術競技会への出場を目指し、トップを取りたい」と新たな目標を掲げた。